

クリーンテック株式&
グリーンボンド・ファンド
(資産成長型)
(愛称：みらいEarth 成長型)
(予想分配金提示型)
(愛称：みらいEarth 分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2020年2月18日～2030年5月10日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	イ. アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券	
組入制限	投資信託証券組入上限比率 無制限	
分配方針	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	予想分配金提示型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,500円未満の場合、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。 (a) 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 (b) 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 (c) 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 (d) 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 (e) 12,500円以上の場合 …500円 なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

運用報告書(全体版)
第6期

(決算日 2022年11月11日)

(作成対象期間 2022年5月12日～2022年11月11日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式およびグリーンボンドに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3410>
<3411>

資産成長型

最近5期の運用実績

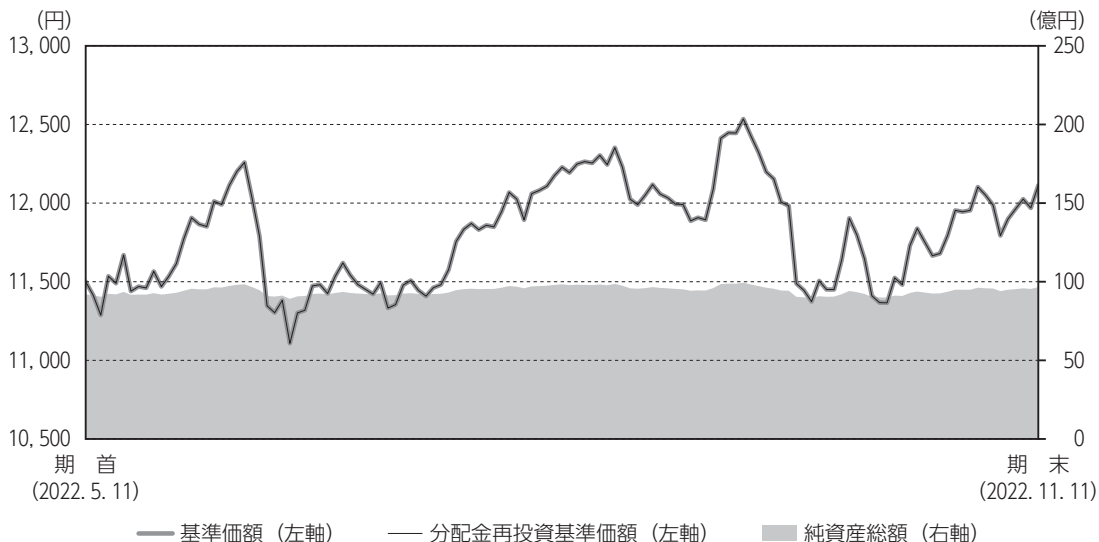
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
2 期末 (2020年11月11日)	11, 053	0	22. 6	97. 8	1, 872
3 期末 (2021年 5 月11日)	12, 050	0	9. 0	98. 3	6, 269
4 期末 (2021年11月11日)	12, 986	0	7. 8	99. 0	9, 917
5 期末 (2022年 5 月11日)	11, 500	0	△ 11. 4	98. 6	9, 201
6 期末 (2022年11月11日)	12, 112	0	5. 3	98. 7	9, 652

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,500円

期末：12,112円（分配金0円）

騰落率：5.3%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
アクサIMクリーンテック関連株式ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	14.1%	50.0%
アクサIMグリーンボンド・ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	△1.7%	48.7%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主として、保有している債券の価格が下落したことがマイナス要因となったものの、米ドルやユーロが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

クリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準	価 額	投 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落 率				
(期首) 2022年 5 月11日	円	%				%
	11, 500	—				98. 6
5 月末	11, 906	3. 5				98. 9
6 月末	11, 482	△ 0. 2				98. 6
7 月末	12, 068	4. 9				98. 7
8 月末	11, 994	4. 3				99. 5
9 月末	11, 450	△ 0. 4				98. 8
10月末	12, 102	5. 2				99. 0
(期末) 2022年11月11日	12, 112	5. 3				98. 7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 5. 12 ~ 2022. 11. 11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、ほぼ横ばいで推移しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから下落しました。2022年6月半ばにF R Bが利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測などから上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きしました。その後は、パウエルF R B議長が景気回復よりもインフレ抑制を優先する姿勢を強調したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したこと、英国の財政悪化懸念から英国債が急落したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。その後は、英国発の混乱が収束し欧米の金利上昇が一服したことなどから、当作成期末にかけて株価は反発し、総じて当作成期首の水準をほぼ回復しました。

■グローバル債券市況

グローバル債券市況は、金利はおおむね上昇（債券価格は下落）しました。

グローバル債券市況は、当作成期首より、米国のC P I（消費者物価指数）が大きく予想を上振れたことなどから利上げの織り込みが加速し、金利は上昇しました。その後は、米国の金融引き締めによる景気悪化が意識されて金利が低下する局面があったものの、雇用統計などの経済指標が良好な結果であったことから景気悪化懸念が後退し、金利は大きく上昇しました。2022年9月以降も、堅調な労働市場に加えてC P Iが予想を上振れたことなどから、さらなる金融引き締め観測が織り込まれ、金利は大きく上昇しました。また、英国で大規模な財政政策が発表されたことで英国金利が急上昇し、世界的に金利が上昇したことも、金利上昇圧力となりました。

■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

為替相場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、米国で大幅な利上げが行われたことなどから、上昇しました。2022年7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されたことで円高米ドル安となりました。しかし8月には、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。9月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの、影響は限定的なものにとどまりました。その後も、米国金利が上昇したことで日米金利差が意識され、円安米ドル高基調のまま推移しましたが、11月に入ると、インフレの減速期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安に転じ、当作成期末を迎えました。

ユーロ円為替相場は、E C B（欧州中央銀行）がタカ派姿勢を強めた一方で、日銀は依然として緩和姿勢を維持していたため、金利差の拡大が意識されたことで、上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50％程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50％程度とすることをめざします。

※クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによって長期的に大きく成長することが期待されています。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。資金使途を環境分野へ限定したグリーンボンドは、近年、環境意識の高まりなどから発行体の数が増加し、発行する業種にも多様化が見られます。グリーンボンドは、市場規模の拡大に伴い、今後注目が高まる投資資産と考えています。当ファンドでは、クレジット分析などの一般的な債券分析の手法に加えて、E S G（環境・社会・ガバナンス）の観点からも銘柄を選定することで優良なグリーンボンドへの投資を行い、安定したリターンを獲得することをめざしていく方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 5. 12 ~ 2022. 11. 11)

■当ファンド

当ファンドは、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」および「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、純資産総額に対して、クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、組み入れました。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行いました。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手のネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」ではカナダの廃棄物処理業者ウエイスト・コネクションズ、「持続可能な食糧供給」では農薬散布を最適化する技術の開発に取り組む米国の農機メーカーのディアなどの企業に投資しました。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行いました。通貨別ではユーロ建てが最も多く、次いで米ドル建てなどに投資しました。債券種別配分では社債を多めに配分しており、中でもユーロ建社債を選好しました。地域別では、欧州周辺国への配分をやや多めとし、新興国については引き続きチリ、インドネシアなどを中心に多めの配分としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2022年5月12日 ～2022年11月11日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,859

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度とすることをめざします。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによってさらなる投資機会が創出されるものと期待されます。引き続き、高い技術力と競争優位性のある質の高いクリーンテック関連企業に投資することにより、地球環境を守るための政策の後押しや人々の行動の変化を背景に長期的な成長が期待できると考えます。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。資金使途を環境分野へ限定したグリーンボンドは、近年、環境意識の高まりなどから発行体の数が増加し、発行する業種にも多様化が見られます。グリーンボンドは、市場規模の拡大に伴い、今後注目が高まる投資資産と考えています。当ファンドでは、クレジット分析などの一般的な債券分析の手法に加えて、E S G（環境・社会・ガバナンス）の観点からも銘柄を選定することで優良なグリーンボンドへの投資を行い、安定したリターンを獲得することをめざしていく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 5. 12～2022. 11. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0. 577%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 803円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0. 177)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	69	0. 581	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

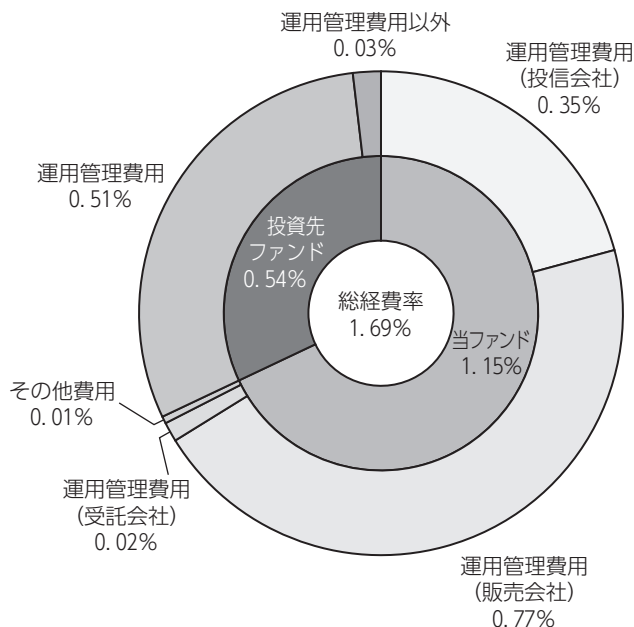
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.69%
①当ファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年 5月12日から2022年11月11日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	68,343.903	95,000	252,964.383	380,000
	アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	242,060.419	250,000	58,858.152	60,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券 アクサ IMクリーンテック関連 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	3,223,671.2	4,830,671	50.0
アクサ IMグリーンボンド・ ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	4,642,080.335	4,699,177	48.7
合 計	口 数、金 額	7,865,751.535	9,529,849
	銘柄数 <比率>	2 銘柄	<98.7%>

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年11月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	9,529,849	98.1
コール・ローン等、その他	184,953	1.9
投資信託財産総額	9,714,802	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,714,802,764円
コール・ローン等	184,953,548
投資信託受益証券 (評価額)	9,529,849,216
(B) 負債	62,166,349
未払解約金	7,437,804
未払信託報酬	54,336,788
その他未払費用	391,757
(C) 純資産総額 (A－B)	9,652,636,415
元本	7,969,493,081
次期繰越損益金	1,683,143,334
(D) 受益権総口数	7,969,493,081口
1万口当り基準価額 (C／D)	12,112円

* 期首における元本額は8,001,609,399円、当作成期間中における追加設定元本額は466,917,759円、同解約元本額は499,034,077円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,112円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 5月12日 至 2022年11月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 24, 330円
受取利息	572
支払利息	△ 24, 902
(B) 有価証券売買損益	530, 121, 575
売買益	639, 661, 691
売買損	△ 109, 540, 116
(C) 信託報酬等	△ 54, 728, 545
(D) 当期損益金 (A + B + C)	475, 368, 700
(E) 前期繰越損益金	△ 284, 329, 708
(F) 追加信託差損益金	1, 492, 104, 342
(配当等相当額)	(935, 391, 875)
(売買損益相当額)	(556, 712, 467)
(G) 合計 (D + E + F)	1, 683, 143, 334
次期繰越損益金 (G)	1, 683, 143, 334
追加信託差損益金	1, 492, 104, 342
(配当等相当額)	(935, 391, 875)
(売買損益相当額)	(556, 712, 467)
分配準備積立金	786, 964, 363
繰越損益金	△ 595, 925, 371

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1, 492, 104, 342
(d) 分配準備積立金	786, 964, 363
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2, 279, 068, 705
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2, 279, 068, 705
(h) 受益権総口数	7, 969, 493, 081口

予想分配金提示型

最近5期の運用実績

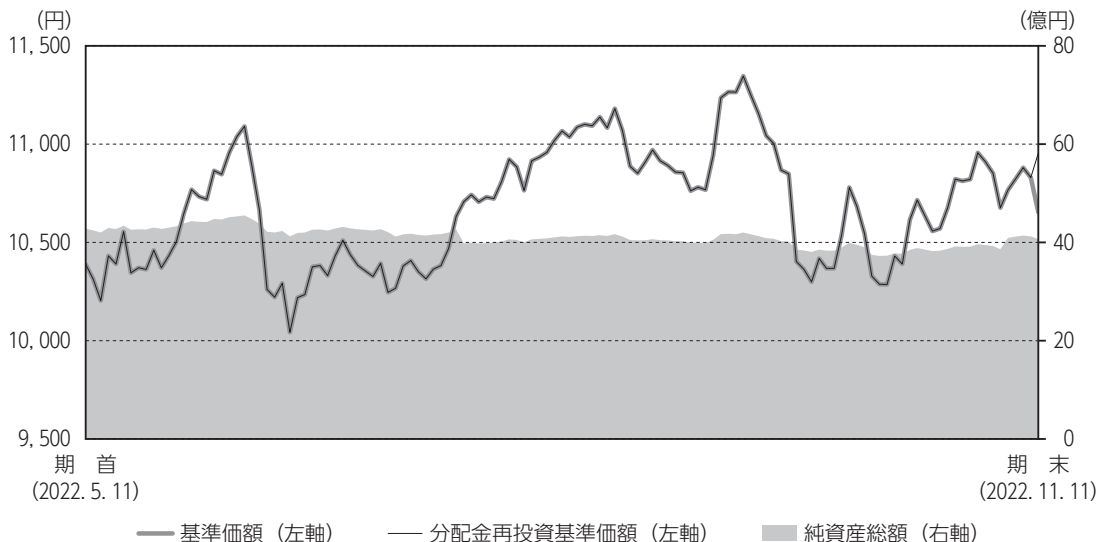
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
2 期末 (2020年11月11日)	10,731		350	22.9	82.4	1,784
3 期末 (2021年 5 月11日)	11,290		400	8.9	96.4	3,866
4 期末 (2021年11月11日)	11,727		450	7.9	98.2	4,729
5 期末 (2022年 5 月11日)	10,388		0	△ 11.4	94.8	4,280
6 期末 (2022年11月11日)	10,654		300	5.4	97.7	4,065

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,388円

期末：10,654円（分配金300円）

騰落率：5.4%（分配金込み）

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
アクサIMクリーンテック関連株式ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	14.1%	49.6%
アクサIMグリーンボンド・ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	△1.7%	48.1%

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主として、保有している債券の価格が下落したことがマイナス要因となったものの、米ドルやユーロが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

クリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド（予想分配金提示型）

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
(期首)2022年 5 月11日	円 10,388	% —		% 94.8
5 月末	10,769	3.7		99.0
6 月末	10,383	△ 0.0		99.3
7 月末	10,922	5.1		99.0
8 月末	10,858	4.5		98.7
9 月末	10,368	△ 0.2		99.1
10月末	10,956	5.5		99.2
(期 末)2022年11月11日	10,954	5.4		97.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 5. 12 ~ 2022. 11. 11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、ほぼ横ばいで推移しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから下落しました。2022年6月半ばにF R Bが利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測などから上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きしました。その後は、パウエルF R B議長が景気回復よりもインフレ抑制を優先する姿勢を強調したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したこと、英国の財政悪化懸念から英国債が急落したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。その後は、英国発の混乱が収束し欧米の金利上昇が一服したことなどから、当作成期末にかけて株価は反発し、総じて当作成期首の水準をほぼ回復しました。

■グローバル債券市況

グローバル債券市況は、金利はおおむね上昇（債券価格は下落）しました。

グローバル債券市況は、当作成期首より、米国のC P I（消費者物価指数）が大きく予想を上振れたことなどから利上げの織り込みが加速し、金利は上昇しました。その後は、米国の金融引き締めによる景気悪化が意識されて金利が低下する局面があったものの、雇用統計などの経済指標が良好な結果であったことから景気悪化懸念が後退し、金利は大きく上昇しました。2022年9月以降も、堅調な労働市場に加えてC P Iが予想を上振れたことなどから、さらなる金融引き締め観測が織り込まれ、金利は大きく上昇しました。また、英国で大規模な財政政策が発表されたことで英国金利が急上昇し、世界的に金利が上昇したことも、金利上昇圧力となりました。

■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

為替相場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、米国で大幅な利上げが行われたことなどから、上昇しました。2022年7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されたことで円高米ドル安となりました。しかし8月には、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。9月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの、影響は限定的なものにとどまりました。その後も、米国金利が上昇したことで日米金利差が意識され、円安米ドル高基調のまま推移しましたが、11月に入ると、インフレの減速期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安に転じ、当作成期末を迎えました。

ユーロ円為替相場は、E C B（欧州中央銀行）がタカ派姿勢を強めた一方で、日銀は依然として緩和姿勢を維持していたため、金利差の拡大が意識されたことで、上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50％程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50％程度とすることをめざします。

※クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによって長期的に大きく成長することが期待されています。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。資金使途を環境分野へ限定したグリーンボンドは、近年、環境意識の高まりなどから発行体の数が増加し、発行する業種にも多様化が見られます。グリーンボンドは、市場規模の拡大に伴い、今後注目が高まる投資資産と考えています。当ファンドでは、クレジット分析などの一般的な債券分析の手法に加えて、E S G（環境・社会・ガバナンス）の観点からも銘柄を選定することで優良なグリーンボンドへの投資を行い、安定したリターンを獲得することをめざしていく方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 5. 12 ~ 2022. 11. 11)

■当ファンド

当ファンドは、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」および「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、純資産総額に対して、クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、組み入れました。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行いました。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手のネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」ではカナダの廃棄物処理業者ウエイスト・コネクションズ、「持続可能な食糧供給」では農薬散布を最適化する技術の開発に取り組む米国の農機メーカーのディアなどの企業に投資しました。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行いました。通貨別ではユーロ建てが最も多く、次いで米ドル建てなどに投資しました。債券種別配分では社債を多めに配分しており、中でもユーロ建社債を選好しました。地域別では、欧州周辺国への配分をやや多めとし、新興国については引き続きチリ、インドネシアなどを中心に多めの配分としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年 5 月12日 ～2022年11月11日	
当期分配金（税込み）	(円)	300
対基準価額比率	(%)	2.74
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	300
翌期繰越分配対象額	(円)	1,316

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	1,028.99
(d) 分配準備積立金	✓ 587.04
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,616.03
(f) 分配金	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,316.03

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度とすることをめざします。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「持続可能な食糧供給」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによってさらなる投資機会が創出されるものと期待されます。引き続き、高い技術力と競争優位性のある質の高いクリーンテック関連企業に投資することにより、地球環境を守るための政策の後押しや人々の行動の変化を背景に長期的な成長が期待できると考えます。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。資金使途を環境分野へ限定したグリーンボンドは、近年、環境意識の高まりなどから発行体の数が増加し、発行する業種にも多様化が見られます。グリーンボンドは、市場規模の拡大に伴い、今後注目が高まる投資資産と考えています。当ファンドでは、クレジット分析などの一般的な債券分析の手法に加えて、E S G（環境・社会・ガバナンス）の観点からも銘柄を選定することで優良なグリーンボンドへの投資を行い、安定したリターンを獲得することをめざしていく方針です。

1万口当りの費用の明細

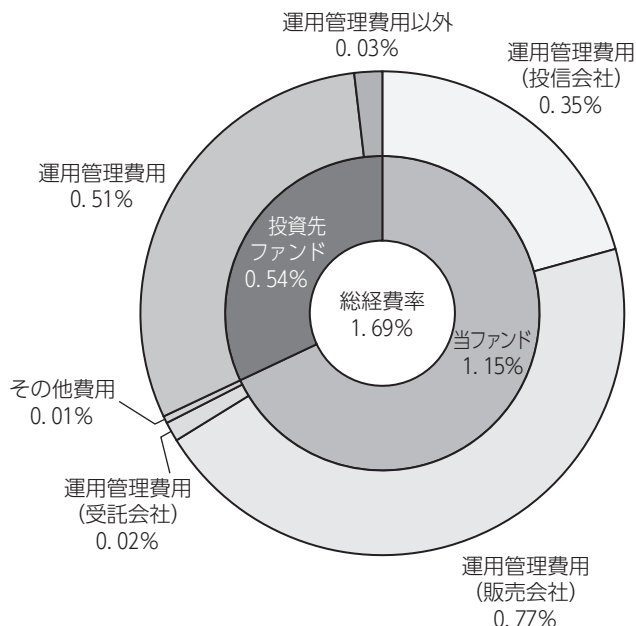
項 目	当 期 (2022. 5. 12～2022. 11. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0. 577%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 677円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 177)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0. 581	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.69%
①当ファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年 5月12日から2022年11月11日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	内	千口	千円	千口	千円
	アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	164, 117. 029	220, 000	323, 888. 183	460, 000
	アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	259, 070. 95	265, 000	348, 204. 017	355, 000

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券			
アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1, 344, 788. 993	2, 015, 166	49. 6
アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1, 932, 863. 766	1, 956, 637	48. 1
合 計	口 数、 金 額	3, 277, 652. 759	3, 971, 804
	銘柄数 < 比率 >	2 銘柄	<97.7%>

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年11月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3, 971, 804	94. 5
コール・ローン等、その他	232, 039	5. 5
投資信託財産総額	4, 203, 843	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4, 203, 843, 374円
コール・ローン等	232, 039, 078
投資信託受益証券 (評価額)	3, 971, 804, 296
(B) 負債	138, 789, 050
未払収益分配金	114, 460, 609
未払解約金	483, 235
未払信託報酬	23, 674, 565
その他未払費用	170, 641
(C) 純資産総額 (A－B)	4, 065, 054, 324
元本	3, 815, 353, 641
次期繰越損益金	249, 700, 683
(D) 受益権総口数	3, 815, 353, 641口
1 万口当り基準価額 (C／D)	10, 654円

* 期首における元本額は4, 120, 568, 350円、当作成期間中における追加設定元本額は321, 245, 585円、同解約元本額は626, 460, 294円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 654円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 5月12日 至 2022年11月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 10, 009円
受取利息	480
支払利息	△ 10, 489
(B) 有価証券売買損益	230, 195, 945
売買益	282, 622, 859
売買損	△ 52, 426, 914
(C) 信託報酬等	△ 23, 845, 206
(D) 当期損益金 (A + B + C)	206, 340, 730
(E) 前期繰越損益金	△ 234, 777, 233
(F) 追加信託差損益金	392, 597, 795
(配当等相当額)	(151, 895, 197)
(売買損益相当額)	(240, 702, 598)
(G) 合計 (D + E + F)	364, 161, 292
(H) 収益分配金	△ 114, 460, 609
次期繰越損益金 (G + H)	249, 700, 683
追加信託差損益金	392, 597, 795
(配当等相当額)	(151, 895, 197)
(売買損益相当額)	(240, 702, 598)
分配準備積立金	109, 516, 650
繰越損益金	△ 252, 413, 762

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	392, 597, 795
(d) 分配準備積立金	223, 977, 259
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	616, 575, 054
(f) 分配金	114, 460, 609
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	502, 114, 445
(h) 受益権総口数	3, 815, 353, 641□

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	300円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型株式投資信託／適格機関投資家私募	
信託期間	原則、無期限とします。	
運用方針	アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	- 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 - マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	- 主として、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 - ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 - 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、アクサ・インベストメント・マネージャー独自のESG基準に基づくスクリーニングによってユニバースを絞り込みます。 - その中からクリーンテック分野において長期的な成長が見込まれる企業群を選定します。 - さらにファンダメンタル・リサーチに基づき銘柄を絞り込み、バリュエーションや流動性、ポートフォリオ全体のリスクなどを勘案の上、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 - 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の全額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アクサ IMクリーンテック 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型株式投資信託／適格機関投資家私募

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2022年10月11日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第6期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	期 騰 落 中 率		
2 期(2020年10月12日)	円 11,449	円 0		% 45.8	% 98.4	百万円 6,987
3 期(2021年 4 月12日)	13,941	0		21.8	97.4	13,164
4 期(2021年10月11日)	14,230	0		2.1	93.5	45,319
5 期(2022年 4 月11日)	14,474	0		1.7	96.5	54,855
6 期(2022年10月11日)	13,681	0		△ 5.5	96.2	52,203

（注 1）基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

（注 2）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

（注 3）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

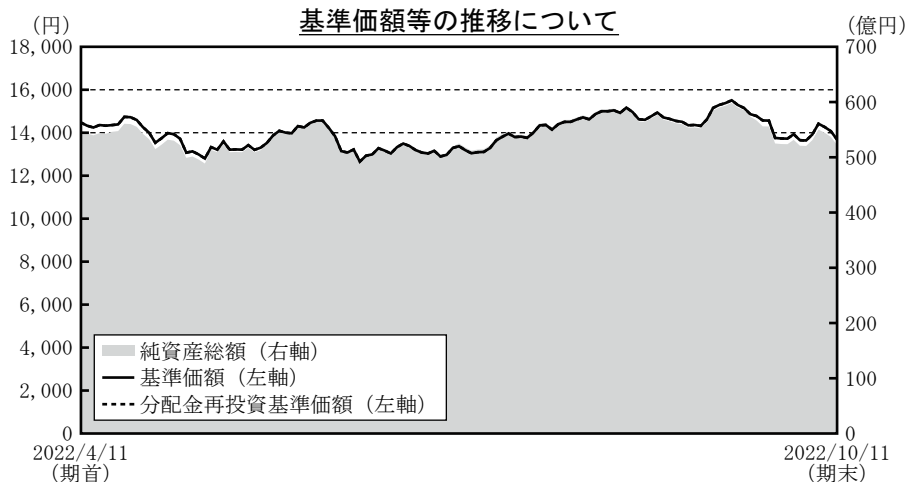
年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年 4 月11日	円		% —	% 96.5
4 月末	13,741	△5.1		95.8
5 月末	14,090	△2.7		94.2
6 月末	13,192	△8.9		94.4
7 月末	14,340	△0.9		97.6
8 月末	14,549	0.5		96.8
9 月末	13,652	△5.7		96.3
(期 末) 2022年10月11日	13,681	△5.5		96.2

（注 1）基準価額は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は設定日比です。なお、当期は分配金はありません。

（注 2）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

（注 3）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2022年4月12日～2022年10月11日）



期 首：14,474円
 期 末：13,681円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰 落 率：－5.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、北米や欧州の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期は各国の気候変動政策に大きな進展が見られ、エネルギー転換にとって分岐点となる年でした。また企業は自社の環境に対する取り組みに積極的に関与し、より優れたクリーンテックを導入することによってこの問題に貢献してきました。効果的なクリーン・テクノロジーに対する需要はあらゆる顧客層や地域で増しており、この市場における主要プレーヤーにとって一層明確な成長機会をもたらしています。しかし2022年2月以降のロシアによるウクライナ侵攻によって、欧州の最重要課題としてエネルギー自立問題が浮かび上がりました。ロシアからの天然ガス供給減に加え猛暑の影響で過去数ヵ月において天然ガス価格は急騰しました。欧州では液化天然ガスの購入と夏場の経済活動鈍化によって天然ガス貯蔵率は改善しましたが、冬場の暖房需要には不十分とみられます。エネルギー価格高騰に対処すべく、欧州の複数の国において、エネルギー企業などに対する超過利潤税や特別支援策などを通じて消費者を守る措置が講じられました。

こうした全般的なマクロ経済の懸念にも関わらず、エネルギー転換に向けた推進力は引き続き高まっています。ウクライナ紛争によって浮かび上がったエネルギー自立問題は世界各国にとって最重要課題となっています。欧州連合（EU）ではエネルギー転換に対するコミットメントの強化が図られており、これまで投資計画実行のスピードを遅らせるボトルネックとなっていた複雑な認可や行政手続きが一段と簡素化されることが期待されます。米国では、最近成立したインフレ抑制法はエネルギー転換企業にとって大きな追い風となり、米国の気候変動目標の達成をより確実なものへと導くとみられます。

長引く中国におけるロックダウンは現地での生産活動にも影響を及ぼし、世界的なサプライチェーンの混乱も続いています。ここ数ヵ月は制限緩和の方向にあるものの、中国は今もゼロコロナ政策を維持しているため、運用チームでは、低炭素輸送分野などの産業やインフレ圧力に影響を及ぼす可能性について引き続き状況を注視しています。

資源有効利用関連分野では、資源廃棄を削減する製品を手掛ける企業にとって原材料コストの上昇が追い風となっています。廃棄削減の価値が上昇し、技術開発の回収期間が短期化されているためです。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は124円台から期末には145円台となり、ユーロ・円レートは期初は135円台から期末に141円台となりました。

米ドルは、新型コロナを巡る警戒感から円安となりましたが、期末にかけてFOMCでの政策金利見通しの大幅引き上げなどにより、145円台に円安が進行しました。ユーロ圏での新型コロナ感染再拡大や、ウクライナ情勢から下落し、ECBの金融政策相違の認識によりユーロ高が141円台に進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行いました。地域別では、米国が最も多く、次いでイギリス、大陸欧州などの国・地域に投資しています。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手ネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」では、カナダの廃棄物処理業者ウェスト・コネクションズ、「持続可能な食糧供給」では農業散布を最適化する技術の開発に取り組む米国の農機メーカーのディアなどの企業に投資しています。

低炭素輸送関連分野では、電気自動車（EV）や先進運転支援システム（ADAS）などの大手部品サプライヤーのアプティブがマイナス寄与となりました。同社は投入コストの上昇、サプライチェーン問題、顧客企業の生産スケジュールの不透明感などを背景に通期の業績ガイダンスを下方修正したことから投資家のセンチメントを冷やしました。しかしながら、EVの更なる普及、自動車で採用される電化部品の増加などに恩恵を受ける企業として同社は優位な立場にあり、新規受注も好調であることから業界平均を上回る成長を遂げるとみえています。

一方、持続可能な食糧供給関連分野ではエンジニアリングおよびコンサルタント企業のアルカディスがプラス寄与となりました。同社は環境に配慮したインフラ整備、交通システム、建設プロジェクトなどに従事しており、エネルギー転換やサステナビリティの向上を目指す企業からの強い需要があります。同社はトロントに拠点を置き、グリーンビルディングやインフラ設備効率化などに注力する設計会社IBIグループの買収を完了し、株価はそれを好感し上昇しました。スマートエネルギー分野では、2050年のネットゼロ目標掲げる日本において3海域の洋上風力発電の入札が行われました。英国で行われた洋上風力発電の大規模な入札では発電能力が当初の予定よりも2倍以上になりました。再生エネルギーへの転換は着実に進んでおり、中でも洋上風力発電が有力となっています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳		(単位：円、1 万口当たり、税込み)	
		第 6 期	
		2022年 4 月12日～2022年10月11日	
当期分配金		—	
	(対基準価額比率)	— %	
	当期の収益	—	
	当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額		3,681	

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1 万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、環境への取り組みを支えるこれらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。こうした将来的な成長期待の高い環境関連株式に投資することによって、長期的に優れたリターンの獲得を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.287%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,994円です。
（投 信 会 社）	(39)	(0.276)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.012	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.012)	
そ の 他 費 用	2	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.011)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	44	0.312	

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド	1, 215, 807	1, 650, 000	1, 033, 231	1, 575, 000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	8, 534, 717千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	51, 571, 741千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0. 16

（注 1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注 2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2022年10月11日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド	36, 931, 832	37, 114, 408	52, 186, 569

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2022年10月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド	千円 52,186,569	% 99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	173,309	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	52,359,879	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（52,116,959千円）の投資信託財産総額（52,338,174千円）に対する比率は、99.6%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル＝145.77円、1カナダドル＝105.84円、1香港ドル＝18.57円、1英ポンド＝161.63円、1スイスフラン＝145.95円、1デンマーククローネ＝19.05円、100韓国ウォン＝10.21円、1オフショア人民元＝20.388円、1ユーロ＝141.72円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年10月11日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	52,359,879,909円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	23,309,995
アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド(評価額)	52,186,569,914
未 収 入 金	150,000,000
(B) 負 債	156,085,945
未 払 信 託 報 酬	155,491,945
そ の 他 未 払 費 用	594,000
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	52,203,793,964
元 本	38,157,339,048
次 期 繰 越 損 益 金	14,046,454,916
(D) 受 益 権 総 口 数	38,157,339,048口
1万口当り基準価額(C／D)	13,681円

1. 期首元本額 37,898,757,404円
期中追加設定元本額 1,561,696,478円
期中一部解約元本額 1,303,114,834円
2. 1口当たり純資産額 1,3681円

■損益の状況

当期（自 2022年4月12日 至 2022年10月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 53,408円
受 取 利 息	1,510
支 払 利 息	△ 54,918
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,711,326,484
売 買 益	73,622,088
売 買 損	△ 2,784,948,572
(C) 信 託 報 酬 等	△ 156,093,910
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△ 2,867,473,802
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,150,039,756
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	13,763,888,962
(配 当 等 相 当 額)	(9,785,916,442)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,977,972,520)
(G) 計 (D＋E＋F)	14,046,454,916
次 期 繰 越 損 益 金(G)	14,046,454,916
追 加 信 託 差 損 益 金	13,763,888,962
(配 当 等 相 当 額)	(9,789,239,454)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,974,649,508)
分 配 準 備 積 立 金	3,306,392,092
繰 越 損 益 金	△ 3,023,826,138

- （注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- （注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- （注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- （注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（156,352,336円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（10,740,062,824円）および分配準備積立金（3,150,039,756円）より分配対象収益は14,046,454,916円（10,000口当たり3,681.19円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	1. 主として、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 - 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準に基づくスクリーニングによってユニバースを絞り込みます。 - その中からクリーンテック分野において長期的な成長が見込まれる企業群を選定します。 - さらにファンダメンタル・リサーチに基づき銘柄を絞り込み、バリュエーションや流動性、ポートフォリオ全体のリスクなどを勘案の上、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日：2022年4月11日）

（計算期間 2021年4月13日～2022年4月11日）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
（設 定 日） 2020年 2 月 19 日	円	%	%	百万円
	10,000	—	—	872
1 期(2020年 4 月 13 日)	7,805	△22.0	91.7	1,030
2 期(2021年 4 月 12 日)	14,223	82.2	98.2	13,055
3 期(2022年 4 月 11 日)	14,835	4.3	96.6	54,787

（注 1）基準価額は 1 万円当たり。

（注 2）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

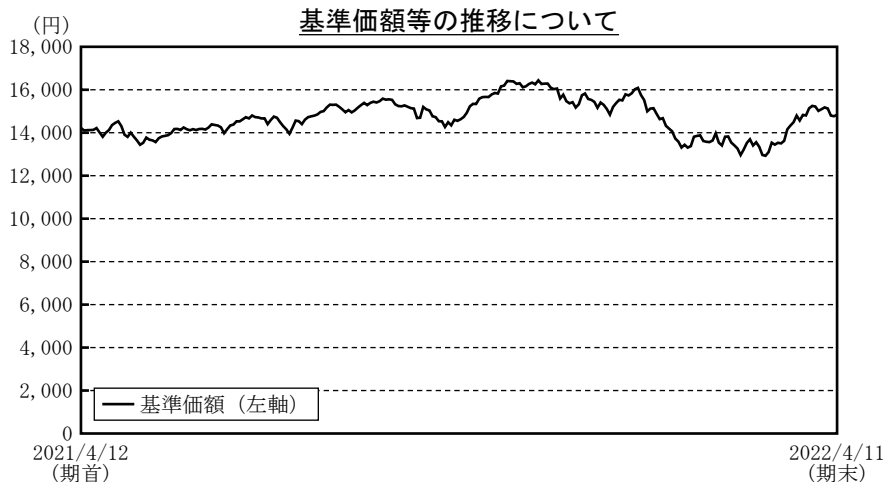
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 率
		騰 落 率	
（期 首） 2021年 4 月 12 日	円	%	%
	14,223	—	98.2
4 月末	14,305	0.6	96.7
5 月末	14,178	△ 0.3	97.8
6 月末	14,723	3.5	96.3
7 月末	14,725	3.5	95.8
8 月末	15,444	8.6	95.3
9 月末	14,726	3.5	93.1
10 月末	16,158	13.6	96.1
11 月末	15,771	10.9	96.0
12 月末	15,835	11.3	97.2
2022年 1 月末	13,377	△ 5.9	93.2
2 月末	13,524	△ 4.9	95.1
3 月末	15,222	7.0	96.5
（期 末） 2022年 4 月 11 日	14,835	4.3	96.6

（注 1）基準価額は 1 万円当たり。騰落率は期首比です。

（注 2）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2021年4月13日～2022年4月11日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、北米や欧州の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期は各国の気候変動政策に大きな進展が見られ、エネルギー転換にとって分岐点となる年でした。また企業は自社の環境に対する取り組みに積極的に関与し、より優れたクリーンテックを導入することによってこの問題に貢献してきました。効果的なクリーン・テクノロジーに対する需要はあらゆる顧客層や地域で増しており、この市場における主要プレーヤーにとって一層明確な成長機会をもたらしています。しかし2022年2月以降のロシアによるウクライナ侵攻によって、欧州の最重要課題としてエネルギー自立問題が浮かび上がりました。この問題を解決するには再生可能エネルギーや電気自動車などの分野に多額の投資が必要となります。新たなエネルギー・インフラストラクチャーとして、スマートグリッド、より広範な国境をまたがる供給網、再生可能エネルギー発電能力の増強、エネルギー効率化、エネルギー貯蔵が必要とされます。輸送システムは化石燃料から電気自動車、バイオ燃料、グリーン水素などのソリューションの組み合わせへのシフトを迫られています。これらのエネルギー転換を実現するためにテクノロジーが欠かせず、キャパシティ増強のためにより大規模な投資が行われようとしています。

低炭素輸送分野では大きな進展がありました。ドイツの自動車メーカー、フォルクスワーゲンは2021年の電気自動車（EV）売上が前年比64%の伸びとなり、欧州連合（EU）の二酸化炭素排出量削減目標を達成したと発表しました。同社のEV比率は上昇を続けており、他のメーカー同様、同分野への投資を更に拡大し、生産体制の強化に乗り出しています。これはEV分野の持続的な成長に寄与する様々なプロセスや技術を提供する企業にとって多くの機会を創出しています。

スマートエネルギー分野では、2050年のネットゼロ目標を掲げる日本において3海域の洋上風力発電の入札が行われました。英国で行われた洋上風力発電の大規模な入札では発電能力が当初の予定よりも2倍以上になりました。再生エネルギーへの転換は着実に進んでおり、中でも洋上風力発電が有力となっています。

資源有効利用関連分野では、資源廃棄を削減する製品を手掛ける企業にとって原材料コストの上昇が追い風となっています。廃棄削減の価値が上昇し、技術開発の回収期間が短期化されているためです。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は109円台から期末には124円台となり、ユーロ・円レートは期初は130円台から期末に135円台となりました。

米ドルは、新型コロナを巡る警戒感から円安となりましたが、期末にかけてFOMCでの政策金利見通しの大幅引き上げなどにより、124円台に円安が進行しました。ユーロ圏での新型コロナ感染再拡大や、ウクライナ情勢から一時下落したが、ECBの金融政策相違の認識によりユーロ高が135円に進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行いました。地域別では、米国が最も多く、次いでイギリス、大陸欧州などの国・地域に投資しています。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手ネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」では、カナダの廃棄物処理業者ウェイスト・コネクションズ、「自然環境保全」ではバイオ技術を活用して食品ロス問題に関するソリューションを提供するデンマークのクリスチャン・ハンセン・ホールディングなどの企業に投資しています。

9月には、中国の龍源電力集団（チャイナ・ロンユアン・パワー・グループ）を新たに組み入れました。同社は中国における風力発電開発大手でエネルギー転換に対する明確なコミットメントを示しています。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、環境への取り組みを支えるこれらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。こうした将来的な成長期待の高い環境関連株式に投資することによって、長期的に優れたリターンの獲得を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2021年 4 月13日～2022年 4 月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	18円 (18)	0. 124% (0. 124)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	6 (6)	0. 038 (0. 038)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	24	0. 162	

(注 1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注 2) 「比率」欄は、「1 万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（14, 708円）で除して100を乗じたものです。

■ 売 買 及 び 取 引 の 状 況 （2021年 4 月13日～2022年 4 月11日）
 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株	千円	千株	千円
		15. 9	115, 480	－	－
外 国	ア メ リ カ	百株 26, 196. 42	千米ドル 203, 443 (△111)	百株 2, 289. 65	千米ドル 20, 845
	カ ナ ダ	723. 56	千カナダドル 11, 333	－	千カナダドル －
	香 港	39, 600	千香港ドル 66, 118	－	千香港ドル －
	イ ギ リ ス	9, 735. 76	千英ポンド 24, 642	175. 79	千英ポンド 395
	ス イ ス	1, 394. 1	千スイスフラン 4, 446	－	千スイスフラン －
	デ ン マ ー ク	2, 202. 51 (△112. 08)	千デンマーククローネ 84, 669 (△14, 063)	222. 41	千デンマーククローネ 10, 930
	韓 国	60. 35	千韓国ウォン 5, 016, 894	－	千韓国ウォン －
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ア イ ル ラ ン ド	1, 424. 95	8, 491	－	－
	オ ラ ン ダ	3, 984. 4	25, 678	－	－
	ル ク セ ン ブ ル グ	1, 219. 68	7, 789	－	－
	フ ラ ン ス	698. 14	10, 053	－	－
国	ド イ ツ	3, 551. 65	20, 009	221. 06	2, 355
	ス ペ イ ン	9, 359. 87 (△7, 259. 67)	15, 430 (△160)	942. 5	1, 115

(注 1) 金額は受け渡し代金。
 (注 2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注 3) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2021年4月13日～2022年4月11日）

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	45,835,564千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	39,292,223千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.16

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄（2021年4月13日～2022年4月11日）

買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
NEXTERA ENERGY INC	157.459	1,392,451	8,843	TE CONNECTIVITY LTD	73.028	1,203,545	16,480
AMERESCO INC-CL A	196.49	1,348,092	6,860	DONALDSON CO INC	68.796	448,070	6,513
SCHNEIDER ELECTRIC SE	69.814	1,326,877	19,005	AMERESCO INC-CL A	41.132	393,332	9,562
DARLING INTERNATIONAL INC	151.895	1,199,337	7,895	SYMRISE AG	22.106	322,019	14,567
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	83.444	1,087,537	13,033	CHR HANSEN HOLDING A/S	22.241	191,942	8,630
KONINKLIJKE DSM NV	50.375	1,083,447	21,507	BEYOND MEAT INC	23.559	181,573	7,707
SIEMENS AG	59.272	1,073,892	18,118	FIRST SOLAR INC	17.21	137,533	7,991
TE CONNECTIVITY LTD	67.729	1,067,083	15,755	IBERDROLA SA	78.69	102,973	1,308
INFINEON TECHNOLOGIES AG	231.968	1,051,981	4,535	JOHNSON MATTHEY PLC	17.579	59,929	3,409
APTIV PLC	61.444	1,042,805	16,971	ALBEMARLE CORP	2.122	48,867	23,029

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2021年4月13日～2022年4月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2021年4月13日～2022年4月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2022年4月11日現在）

(1) 国内株式

銘 柄	前 期 末	当 期 末	
	株 数	評 価	金 額
	千株	千株	千円
電気機器（100.0%）			
堀場製作所	7.1	23	137,540
合 計	7.1	23	137,540
	株 数 ・ 金 額		
銘 柄 数<比 率>	1	1	<0.3%>

(注1) 銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄		株数	前期末	当 期 末		業 種 等
			株数	評 価 額	外貨建金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
KORNIT DIGITAL LTD		—	463	3,374	420,544	資本財
ADVANCED ENERGY INDUSTRIES		124	455	3,514	437,993	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APTIV PLC		210	825	8,943	1,114,662	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD		255	202	2,530	315,330	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALBEMARLE CORP		73	301	6,366	793,457	素材
AMERESCO INC-CL A		636	2,190	15,174	1,891,237	資本財
BALL CORP		275	1,161	10,151	1,265,199	素材
BEYOND MEAT INC		95	—	—	—	食品・飲料・タバコ
BORGWARNER INC		396	1,504	5,476	682,549	自動車・自動車部品
CREE INC		158	—	—	—	半導体・半導体製造装置
DANAHER CORP		79	291	8,733	1,088,428	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DARLING INTERNATIONAL INC		528	2,047	15,256	1,901,419	食品・飲料・タバコ
DEERE & CO		86	329	13,799	1,719,858	資本財
DONALDSON CO INC		207	—	—	—	資本財
ECOLAB INC		91	343	6,283	783,079	素材
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO		798	3,346	15,057	1,876,585	資本財
FIRST SOLAR INC		172	560	4,348	541,923	半導体・半導体製造装置
HANNON ARMSTRONG SUSTAINABLE		774	2,239	9,587	1,194,870	各種金融
ITRON INC		279	1,072	5,472	682,064	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LI-CYCLE HOLDINGS CORP		—	4,776	3,500	436,318	商業サービス・用品
NEXTERA ENERGY INC		501	2,076	17,874	2,227,648	公益事業
REPUBLIC SERVICES INC		—	571	7,763	967,581	商業サービス・用品
SILICON LABORATORIES INC		132	522	7,157	891,997	半導体・半導体製造装置
TPI COMPOSITES INC		533	1,659	2,218	276,491	資本財
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		317	1,151	11,434	1,425,135	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.		32	108	11,076	1,380,441	自動車・自動車部品
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		60	207	12,614	1,572,203	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC		368	1,503	10,839	1,350,972	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WOLFSPEED INC		—	531	5,517	687,667	半導体・半導体製造装置
XYLEM INC		248	905	7,849	978,265	資本財
小 計	株数・ 銘柄数<比率>	7,442 26	31,348 27	231,917 —	28,903,928 <52.8%>	
(カナダ)				千カナダドル		
WASTE CONNECTIONS INC		249	973	17,733	1,754,860	商業サービス・用品
小 計	株数・ 銘柄数<比率>	249 1	973 1	17,733 —	1,754,860 <3.2%>	
(香港)				千香港ドル		
CHINA LONGYUAN POWER GROUP-H		—	23,720	43,217	687,163	公益事業
XINYI SOLAR HOLDINGS LTD		5,100	20,980	28,742	457,007	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・ 銘柄数<比率>	5,100 1	44,700 2	71,960 —	1,144,170 <2.1%>	
(イギリス)				千英ポンド		
GENUS PLC		310	1,197	3,335	541,512	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HALMA PLC		654	2,150	5,446	884,254	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NATIONAL GRID PLC		—	3,863	4,736	769,028	公益事業
CERES POWER HOLDINGS PLC		789	3,345	2,572	417,639	資本財
CRODA INTERNATIONAL PLC		174	690	5,464	887,172	素材
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC		104	411	5,234	849,953	資本財
JOHNSON MATTHEY PLC		66	—	—	—	素材
小 計	株数・ 銘柄数<比率>	2,100 6	11,660 6	26,789 —	4,349,560 <7.9%>	
(スイス)				千スイスフラン		
ABB LTD		208	1,602	4,813	641,953	資本財
小 計	株数・ 銘柄数<比率>	208 1	1,602 1	4,813 —	641,953 <1.2%>	

アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	株数	前期末	当	期末		業	種	等
				外貨建金額	邦貨換算金額			
(デンマーク)		百株	百株	千デンマーク クローネ	千円			
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	112	—	—	—	—	資本財		
CHR HANSEN HOLDING A/S	83	—	—	—	—	素材		
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	—	2,197	46,986	857,503	857,503	資本財		
ORSTED A/S	130	557	47,826	872,836	872,836	公益事業		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	326 3	2,754 2	94,813 —	1,730,339 <3.2%>			
(韓国)				千韓国ウォン				
LG CHEM LTD	22	82	4,330,725	438,702	438,702	素材		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	22 1	82 1	4,330,725 —	438,702 <0.8%>			
(アイルランド)				千ユーロ				
KERRY GROUP PLC-A	108	394	4,074	553,105	553,105	食品・飲料・タバコ		
SMURFIT KAPPA GROUP PLC	331	1,470	5,409	734,392	734,392	素材		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	440 2	1,864 2	9,483 —	1,287,498 <2.3%>			
(オランダ)				千ユーロ				
ARCADIS NV	393	1,442	5,638	765,481	765,481	資本財		
KONINKLIJKE DSM NV	136	640	10,380	1,409,204	1,409,204	素材		
CORBION NV	275	1,034	3,209	435,761	435,761	素材		
ALFEN NV	239	856	7,612	1,033,416	1,033,416	資本財		
SIGNIFY NV	—	1,055	4,038	548,278	548,278	資本財		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	1,044 4	5,029 5	30,879 —	4,192,143 <7.7%>			
(ルクセンブルグ)				千ユーロ				
BEFESA SA	335	1,554	10,509	1,426,825	1,426,825	商業サービス・用品		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	335 1	1,554 1	10,509 —	1,426,825 <2.6%>			
(フランス)				千ユーロ				
SCHNEIDER ELECTRIC SE	211	910	13,240	1,797,530	1,797,530	資本財		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	211 1	910 1	13,240 —	1,797,530 <3.3%>			
(ドイツ)				千ユーロ				
SIEMENS AG	172	765	9,038	1,227,025	1,227,025	資本財		
INFINEON TECHNOLOGIES AG	805	3,125	8,609	1,168,834	1,168,834	半導体・半導体製造装置		
SYMRISE AG	74	—	—	—	—	素材		
SMA SOLAR TECHNOLOGY AG	221	713	3,075	417,533	417,533	半導体・半導体製造装置		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	1,273 4	4,604 3	20,723 —	2,813,393 <5.1%>			
(スペイン)				千ユーロ				
SIEMENS GAMESA RENEWABLE ENERGY	907	2,509	4,027	546,765	546,765	資本財		
IBERDROLA SA	1,392	6,786	7,339	996,393	996,393	公益事業		
CORP ACCIONA ENERGIAS RENOVA	—	1,571	5,524	749,989	749,989	公益事業		
小計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	2,300 2	10,866 3	16,891 —	2,293,147 <4.2%>			
ユーロ計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	5,605 14	24,830 15	101,727 —	13,810,537 <25.2%>			
合計	株数・金 銘柄柄額 数<比率>	21,055 53	117,952 55	— —	52,774,054 <96.3%>			

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成
 (2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	52,911,594	96.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,875,611	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	54,787,205	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 期末における外貨建て資産（54,457,014千円）の投資信託財産総額（54,787,205千円）に対する比率は、99.4%です。
 (注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル＝124.63円、1カナダドル＝98.96円、1香港ドル＝15.90円、1英ポンド＝162.36円、1スイスフラン＝133.37円、1デンマーククローネ＝18.25円、100韓国ウォン＝10.13円、1ユーロ＝135.76円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況
 ■損益の状況

(2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	54,789,351,389円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,818,655,847
株 式(評価額)	52,911,594,418
未 収 入 金	2,153,303
未 収 配 当 金	56,947,821
(B) 負 債	2,156,041
未 払 金	2,156,041
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	54,787,195,348
元 本	36,931,832,235
次 期 繰 越 損 益 金	17,855,363,113
(D) 受 益 権 総 口 数	36,931,832,235口
1万口当り基準価額(C／D)	14,835円

1. 期首元本額
 9,179,083,296円
 期中追加設定元本額
 27,935,592,901円
 期中一部解約元本額
 182,843,962円
2. 1口当たりの純資産額
 1.4835円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 36,931,832,235円
 アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
 36,931,832,235円
 期末元本合計

(2021年4月13日～2022年4月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	291,496,213円
受 取 配 当 金	291,823,350
受 取 利 息	47,938
支 払 利 息	△ 375,075
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	986,089,061
売 買 益	8,159,018,967
売 買 損	△ 7,172,929,906
(C) そ の 他 費 用	△ 15,659,970
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	1,261,925,304
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,876,186,748
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 97,156,038
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	12,814,407,099
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	17,855,363,113
次 期 繰 越 損 益 金(H)	17,855,363,113

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型株式投資信託／適格機関投資家私募	
信託期間	原則として、無期限とします。	
運用方針	アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	内外の公社債等および短期金融商品
ベビーファンドの運用方法	- 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のグリーンボンドに投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおいてグリーンボンドとは、二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいいます。 - マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	- 主として、日本を含む世界のグリーンボンドに投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおいてグリーンボンドとは、二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいいます。 - ポートフォリオの構築にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 ・マクロ経済および市場環境についての見通しを策定します。 ・アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準およびグリーンボンド基準、ファンダメンタル・クレジット分析等を考慮してスクリーニングを実施し、投資ユニバースを決定します。 ・発行体の信用力、デュレーションやイールドカーブ分析、種別・地域別・業種別構成等を考慮して最適と判断されるリスクリターン特性を伴ったポートフォリオを構築します。 ・流動性の確保およびポートフォリオのデュレーション調整のため、グリーンボンドとは類別されない国債等に投資することがあります。かかる国債等には、上場された債券・金利先物取引が含まれます。 ・ポートフォリオの平均格付けは、原則として、投資適格以上とすることを旨とします。 - 公社債の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の全額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払およびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型株式投資信託／適格機関投資家私募

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2022年10月11日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第6期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IMグリーンボンド・マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のグリーンボンドに投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額 総 額
		税 分	込 配	み 騰 金 落		
	円			中 率 %	%	百万円
2 期(2020年10月12日)	10,450			8.8	96.8	2,649
3 期(2021年4月12日)	10,761			3.0	93.7	4,700
4 期(2021年10月11日)	10,745			△0.1	95.3	6,926
5 期(2022年4月11日)	10,478			△2.5	99.1	6,851
6 期(2022年10月11日)	9,806			△6.4	96.7	6,488

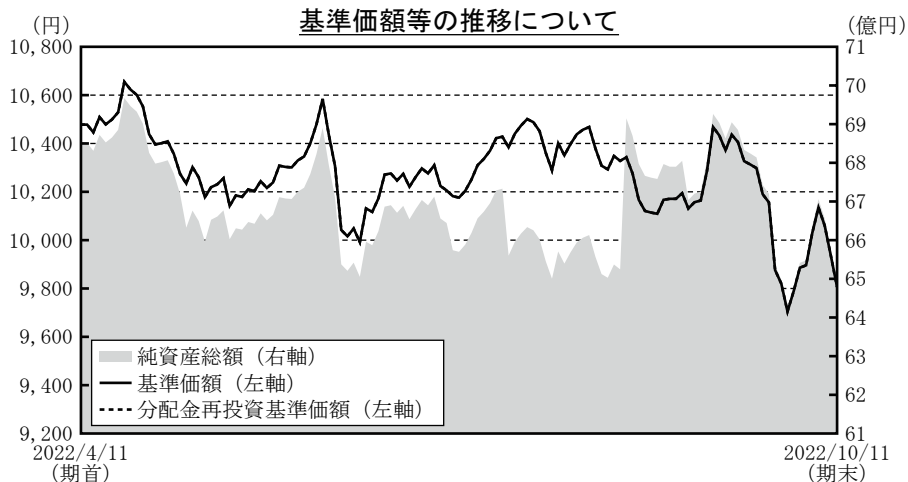
(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「公社債組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目
標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首) 2022年4月11日	円		%	%
	10,478	—		99.1
4 月末	10,401	△0.7		96.4
5 月末	10,308	△1.6		98.6
6 月末	10,261	△2.1		95.3
7 月末	10,451	△0.3		98.1
8 月末	10,171	△2.9		95.1
9 月末	9,886	△5.6		97.6
(期 末) 2022年10月11日	9,806	△6.4		96.7

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「公社債組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目
標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2022年4月12日～2022年10月11日）



期 首：10,478円

期 末：9,806円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：△6.4%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、グリーンボンド指数は、主要国の金利が上昇したことから、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル債券市場

中央銀行は引締め姿勢を一段と強め、消費および投資意欲に影響を及ぼしました。9月に発表された消費者物価指数は中央銀行にとって安心材料とはなりません。米国の8月の消費者物価指数は前月の前年比8.5%から8.3%と、3ヵ月連続で低下しましたが、食品とエネルギーを除くコア指数は前月の5.9%から6.3%まで上昇しました。ユーロ圏の9月の消費者物価指数は事前予想を上回る前年比+10.0%と大幅な上昇となりましたが、これは主としてコア指数の上昇に起因します。同様に日本でも8月の消費者物価総合指数は予想を上回り前年比3%となりました。一方、英国では前年比9.9%と前月から幾分低下しましたが、引き続き高水準にとどまっています。米国では、連邦準備制度理事会（FRB）が9月の連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利を0.75%引き上げ3.00～3.25%とし、金利見通しを22年末は4.4%、23年末は4.6%と上方修正しました。欧州中央銀行（ECB）も主要政策金利を0.75%引き上げました。一方、イングランド銀行（BOE）は0.50%の利上げを実施しました。エマージング諸国の中央銀行はこれらの利上げに追随しましたが、ロシアだけは0.50%の利下げを実施しました。その他の例外は日本と中国で、現状の金融政策を維持しました。

当月、グリーンボンド市場の代表的指数であるICE BofAグリーンボンド指数は、主要国で金利が上昇したことに加えクレジットスプレッドも拡大したことからマイナスのトータルリターンとなりました（現地通貨ベース）。

欧州では、ロシアからの天然ガス供給パイプライン「ノルドストリーム1」が完全に停止され、エネルギー危機は最悪のシナリオに直面しています。欧州委員会はエネルギー価格高騰の負担を緩和するため緊急措置を提示しました。景況感調査は、信頼感、経済環境ともに悪化を続けています。9月の消費者信頼感指数は1985年の調査開始以来最悪の-28.8となりました。製造業とサービスを合わせた総合購買担当者景気指数（PMI）は縮小を示す50を当月も下回り48.1へと低下しました。経済指標の多くが7～9月期に景気後退入りする

ことを示唆しています。

米国では、雇用統計における非農業部門雇用者数が7月の52.6万人増から8月には31.5万人増へと鈍化、失業率は労働参加率の上昇を背景に3.7%へと上昇し、労働市場の逼迫に緩和の兆しが見られました。小売売上高は7月の数値が下方修正されて減少となった一方、8月は予想外に小幅の上昇となりました。GDP成長率は4－6月期は確報値で前期比0.6%減のマイナス成長となりましたが、7－9月期はガソリン価格の低下を受けてプラス成長が見込まれます。

英国はエリザベス女王の死去を受けて国を挙げて喪に服しました。トラス新首相はエネルギー費対策を、クワテング財務相は経済成長促進策を発表しました。しかしながら、これらの大規模な財政出動を伴う政策は英国の債券安や株安を招き、英ポンドは米ドルに対して史上最安値を記録しました。BOEは国債市場の流動性を支えるため、10月14日まで長期国債を1日50億ポンドまで購入可能とする緊急市場介入を決定しました。4－6月期のGDP成長率は速報値の前期比-0.1%から確報値では+0.2%へ上方修正され、景気後退入りは先送りされました。

中国では、8月の経済指標は予想に反して多くのセクターで改善を示し、特に鉱工業生産と小売売上高の伸びが前月から加速しました。しかしながら、これらの景気の強さには、猛暑を反映した電力消費の増加の影響など一過性のものも含まれます。加えて、9月にはコロナによる行動制限が再び強化された他、一部の地域では電力の使用制限を課しています。これらの要因は景気回復の持続性に疑問を呈しています。

日本では、金融緩和策が維持されているため、引締めを加速する他の主要先進国との乖離が一段と拡大しており、年初来で主要通貨に対して進行している円安に拍車がかかっています。これを受けて日本政府は1998年以来となる為替介入に踏み切りました。4－6月期のGDP成長率は速報値の前期比0.5%から改定値では0.9%へ上方修正されました。コロナ感染者数の減少に伴いサービス業PMIが反発に転じたことは、景気にとって明るい兆しと言えます。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は124円台から期末には145円台となり、ユーロ・円レートは期初は135円台から期末に141円台となりました。

米ドルは、新型コロナを巡る警戒感から円安となりましたが、期末にかけてFOMCでの政策金利見通しの大幅引き上げなどにより、145円台に円安が進行しました。ユーロ圏での新型コロナ感染再拡大や、ウクライナ情勢から下落し、ECBの金融政策相違の認識によりユーロ高が141円台に進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド

当ファンドは、グリーンボンド、即ち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。

通貨別ではユーロ建て、次いで米ドル建てが最も多く、残りは英ポンド建て、カナダドル建て、スウェーデンクローナ建て、豪ドル建てに投資しています。債券種別配分では引き続き社債に多めの配分としています。社債のバリュエーションは従来より割安度はやや薄れましたが、緩和的な金融政策や投資家の利回り追求の動きが引き続き市場を支えると見ています。地域別では、社債を中心に欧州周辺国への配分をやや多めとし、新興国については引き続きチリ、インドネシアなどを中心に多めの配分としています。グリーンボンドの資金使途では、再生可能エネルギーのプロジェクトが主たる融資先となっています。

グリーンボンドの資金使途では、再生可能エネルギーのプロジェクトが主たる融資先となっています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳
 (単位：円、1 万口当たり、税込み)

		第 6 期
		2022年 4 月12日～2022年10月11日
当期分配金 (対基準価額比率)		—
		— %
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
	翌期繰越分配対象額	760

(注 1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
 (注 2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注 3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1 万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド

当ファンドは、グリーンボンドへの投資を通じて環境への取り組みを行う企業や政府を資金面で支えるとともに、クーポンの積み上げなどによる着実なパフォーマンスと安定したインカムゲインの獲得を目指します。

■1 万口当たりの費用明細（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.232%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,273円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.221)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
そ の 他 費 用	2	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	26	0.249	

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
 (注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド	336, 376	350, 000	276, 328	288, 500

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2022年 4 月12日～2022年10月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2022年10月11日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド	6, 466, 088	6, 526, 136	6, 484, 368

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2022年10月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド	6, 484, 368	99. 7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20, 069	0. 3
投 資 信 託 財 産 総 額	6, 504, 438	100. 0

（注 1）評価額の単位未満は切捨て。

（注 2）アクサ IMグリーンボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（6, 491, 699千円）の投資信託財産総額（6, 560, 818千円）に対する比率は、98. 9%です。

（注 3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1 米ドル＝145. 77円、1 カナダドル＝105. 84円、1 オーストラリアドル＝91. 89円、1 英ポンド＝161. 63円、1 スウェーデンクローナ＝12. 91円、1 ユーロ＝141. 72円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年10月11日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,504,438,545円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	69,772
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド(評価額)	6,484,368,773
未 収 入 金	20,000,000
(B) 負 債	16,144,680
未 払 信 託 報 酬	15,550,680
そ の 他 未 払 費 用	594,000
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	6,488,293,865
元 本	6,616,649,596
次 期 繰 越 損 益 金	△ 128,355,731
(D) 受 益 権 総 口 数	6,616,649,596口
1万口当り基準価額(C／D)	9,806円

1. 期首元本額 6,539,274,745円
期中追加設定元本額 397,407,176円
期中一部解約元本額 320,032,325円
2. 1口当たり純資産額 0.9806円

■損益の状況

当期（自 2022年4月12日 至 2022年10月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 9,303円
受 取 利 息	228
支 払 利 息	△ 9,531
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△422,071,952
売 益	4,754,581
売 買 損	△426,826,533
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,145,377
(D) 当 期 損 益 金 (A＋B＋C)	△438,226,632
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 42,905,605
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	352,776,506
(配 当 等 相 当 額)	(283,751,865)
(売 買 損 益 相 当 額)	(69,024,641)
(G) 計 (D＋E＋F)	△128,355,731
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△128,355,731
追 加 信 託 差 損 益 金	352,776,506
(配 当 等 相 当 額)	(284,265,879)
(売 買 損 益 相 当 額)	(68,510,627)
分 配 準 備 積 立 金	218,934,797
繰 越 損 益 金	△700,067,034

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (31,683,304円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (284,265,879円) および分配準備積立金 (187,251,493円) より分配対象収益は503,200,676円 (10,000口当たり760.51円) ですが、当期に分配した金額はありません。

マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	内外の公社債等および短期金融商品
運用方法	1. 主として、日本を含む世界のグリーンボンドに投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおいてグリーンボンドとは、二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいいます。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 - マクロ経済および市場環境についての見通しを策定します。 - アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準およびグリーンボンド基準、ファンダメンタル・クレジット分析等を考慮してスクリーニングを実施し、投資ユニバースを決定します。 - 発行体の信用力、デュレーションやワールドカーブ分析、種別・地域別・業種別構成等を考慮して最適と判断されるリスク／リターン特性を伴ったポートフォリオを構築します。 - 流動性の確保およびポートフォリオのデュレーション調整のため、グリーンボンドとは類別されない国債等に投資することがあります。かかる国債等には、上場された債券・金利先物取引が含まれます。 - ポートフォリオの平均格付けは、原則として、投資適格以上とすることを目指します。 3. 公社債の組入比率は、原則として高位に維持します。 4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日：2022年4月11日）

（計算期間 2021年4月13日～2022年4月11日）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率		
（設 定 日） 2020年 2 月 19 日	円		%	%	百万円
	10,000		—	—	1,988
1 期(2020年 4 月 13 日)	9,607	△	3.9	88.2	2,044
2 期(2021年 4 月 12 日)	10,829		12.7	94.4	4,667
3 期(2022年 4 月 11 日)	10,594	△	2.2	99.2	6,849

（注 1）基準価額は 1 万円当たり。

（注 2）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

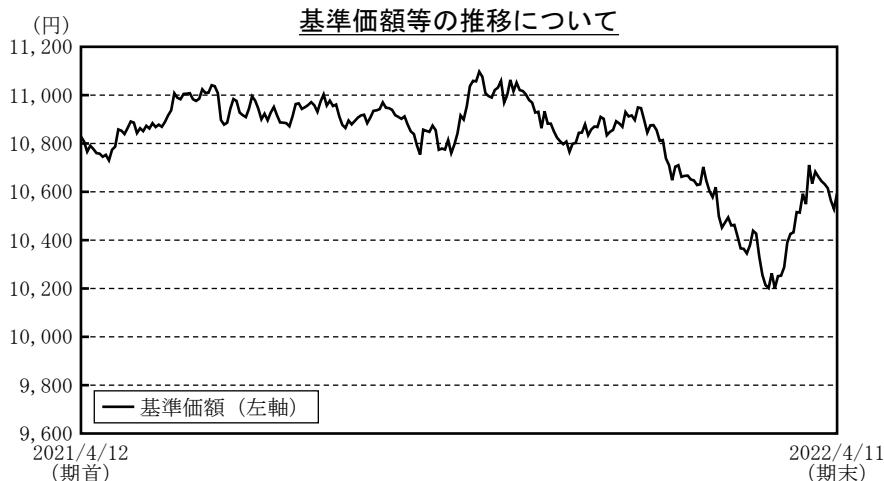
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率
		騰 落	率	
（期 首） 2021年 4 月 12 日	円		%	%
	10,829		—	94.4
4 月末	10,853		0.2	95.3
5 月末	10,989		1.5	96.0
6 月末	10,909		0.7	95.5
7 月末	10,959		1.2	93.1
8 月末	10,935		1.0	94.0
9 月末	10,855		0.2	94.5
10 月末	11,059		2.1	98.6
11 月末	10,797	△	0.3	96.5
12 月末	10,916		0.8	96.0
2022年 1 月末	10,651	△	1.6	98.8
2 月末	10,345	△	4.5	99.0
3 月末	10,683	△	1.3	99.3
（期 末） 2022年 4 月 11 日	10,594		△2.2	99.2

（注 1）基準価額は 1 万円当たり。騰落率は期首比です。

（注 2）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2021年4月13日～2022年4月11日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、グリーンボンド指数は、主要国の金利が上昇したことから、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル債券市場

当期のグローバル債券市場は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染状況に大きく影響を受けました。感染力の強いオミクロン変異株の出現で新型コロナウイルスの感染再拡大懸念が広がり、グローバル経済への影響が注目の的となっておりますが、2022年2月中旬にロシアのウクライナへの侵攻が開始されました。これにより特にエネルギー価格の高騰を通して表れています。昨年のエネルギー危機の当初から各国政府は大規模な支援をしているにも関わらず、企業の景況感調査では減速の傾向が表れ始め、中でもユーロ圏でその傾向が顕著です。あらゆる地域で、インフレの高騰によって家計の購買力が蝕まれ、折しも中央銀行が引締めへ転じている中、この先の経済活動が大幅に減速するリスクがあります。グリーンボンド市場の代表的指数であるICE BofAグリーンボンド指数は、期の後半に主要国の金利が上昇したことからマイナスのトータルリターンとなりました（現地通貨ベース）。

米国はウクライナ紛争の影響は欧州に比べれば少ないものの、新たなサプライショックが経済活動を減速させる可能性があります。今のところ、企業の景況感指数も消費者信頼感指数も高い水準を保っています。失業率も低下を続け、3月には前月の3.8%から3.6%まで低下しました。消費者物価指数は2月に前年比7.9%となり、3月も更に上昇すると予想されることから、購買力は縮小を続けています。連邦準備制度理事会（FRB）はインフレに対して厳しい姿勢で臨む姿勢を示し0.25%の利上げを実施しました。また、バランスシートの正常化をどのように進めるかについても今後明らかにすると見られます。

ユーロ圏ではウクライナ危機の影響が次第に経済指標に表れ始めています。製造業は比較的持ちこたえているものの、企業は新規受注の悪化や納期の長期化を報告しています。消費者信頼感指数は2月の-8.8から3月には-18.7となり、2020年3月以来の大幅な落ち込みとなりました。消費者物価指数は2月の5.9%から更に上昇し3月には7.5%となり、うち4.5%はエネルギーと食品の上昇によるものです。欧州連合（EU）加盟国の多くは一時的な減税、ガソリン店頭価格の引下げ、エネルギー補助金など様々な支援策を導入しました。EU4大国（ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）で実施されたこれらの措置は、昨年秋以降でGDPの

約1.1%に相当します。政治面においては、EUはロシアに対する新たな制裁措置を追加し、年内にエネルギーのロシアに対する依存を大幅に引き下げる計画「リパワーEU」を発表しました。フランスでは4月10日の大統領選第1回投票を控え選挙戦は大詰めを迎えています。極右候補のマリーヌ・ルペン氏と現職のマクロン氏との決選投票になった場合、最新の世論調査では接戦が予想されることから、（第1回で別の候補を支持した有権者の）棄権票が鍵を握ることになると見られます。

英国もエネルギー価格高騰の影響を受けています。2月の消費者物価指数は前年比6.2%でしたが、3月は大幅な上昇が見込まれ、4月には8%近くまで上昇すると見込まれます。この影響は既に小売売上高に表れており、2月は前月比-0.3%となりました。これまで発表された財政支援は限定的で、内需は今後厳しい状況になると見られます。イングランド銀行は2月に続き3月にも利上げし政策金利を0.75%としました。今年はあと2回の利上げが予想されています。

中国では新型コロナウイルスの感染者数が急速に拡大しており、深センや上海といった大都市で次々と外出制限を実施しています。したがって、国内の経済活動の減速は避けられず、グローバルのサプライチェーンにとっても大きなリスクとなることが考えられます。政府が何らかの支援をすると予想されますが、今のところその内容は不明です。

日本では、エネルギー価格の高騰と円安効果で「リフレ」が進んでいます。日銀は超緩和的金融政策を継続する姿勢を示しており、イールドカーブ・コントロールを維持するため3月末にかけ国債を指定した利回りで無制限に買い入れる指値オペを実施しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は109円台から期末には124円台となり、ユーロ・円レートは期初は130円台から期末に135円台となりました。

米ドルは、新型コロナを巡る警戒感から円安となりましたが、期末にかけてFOMCでの政策金利見通しの大幅引き上げなどにより、124円台に円安が進行しました。ユーロ圏での新型コロナ感染再拡大や、ウクライナ情勢から一時下落したが、ECBの金融政策相違の認識によりユーロ高が135円に進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、グリーンボンド、即ち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。

通貨別ではユーロ建て、次いで米ドル建てが最も多く、残りは英ポンド建て、カナダドル建て、スウェーデンクローナ建て、豪ドル建てに投資しています。債券種別配分では引き続き社債に多めの配分としています。社債のバリュエーションは従来より割安度はやや薄れましたが、緩和的な金融政策や投資家の利回り追求の動きが引き続き市場を支えると見ています。地域別では、利回りの積み上げが狙える欧州周辺国を選好しています。また、中国、チリ、インドネシア、ハンガリーなど新興国の魅力的なバリュエーションの銘柄も組入れ、リスクの分散を図っています。

グリーンボンドの資金使途では、再生可能エネルギーのプロジェクトが主たる融資先となっています。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、グリーンボンドへの投資を通じて環境への取り組みを行う企業や政府を資金面で支えるとともに、クーポンの積み上げなどによる着実なパフォーマンスと安定したインカムゲインの獲得を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2021年 4 月13日～2022年 4 月11日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
そ の 他 費 用 (そ の 他)	2円 (2)	0.018% (0.018)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	2	0.018	

(注 1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注 2) 「比率」欄は、「1 万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,816円）で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2021年 4 月13日～2022年 4 月11日）

公社債

			買 付	売 付
外	ア メ リ カ	国 債 証 券 社 債 券	千米ドル 777 4,875	千米ドル 402 1,277
	カ ナ ダ	地 方 債 証 券	千カナダドル 713	千カナダドル －
	オ ー ス ト ラ リ ア	特 殊 債 券	千オーストラリアドル 224	千オーストラリアドル －
	イ ギ リ ス	国 債 証 券 特 殊 債 券 社 債 券	千英ポンド 393 723 1,560	千英ポンド 384 － －
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ア イ ル ラ ン ド	国 債 証 券 社 債 券	－ 287	110 －
	オ ラ ン ダ	国 債 証 券 社 債 券	837 1,561	－ 202
	ベ ル ギ ー	国 債 証 券 社 債 券	173 199	－ －
	ル ク セ ン ブ ル グ	社 債 券	525	－
	フ ラ ン ス	国 債 証 券 特 殊 債 券 社 債 券	952 1,549 1,399	359 493 108
	ド イ ツ	国 債 証 券 社 債 券	1,246 1,221	784 －
	ス ペ イ ン	国 債 証 券 特 殊 債 券 社 債 券	432 406 608	84 202 405

			買	付	売	付
外国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ	
	イタリア	国債証券	415		479	
		社債証券	1,713		501	
	フィンランド	社債証券	118		—	
	スロヴェニア	国債証券	304		—	
	その他	国債証券	113		—	
国		特殊債証券	1,450		574	
		社債証券	2,822		418	

(注1) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。
(注3) 単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄（2021年4月13日～2022年4月11日）

買		付	売		付
銘柄	柄	金額	銘柄	柄	金額
		千円			千円
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND		164,111	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND		104,101
NETHERLANDS GOVERNMENT		110,617	BUONI POLIENNALI DEL TES		63,891
FRANCE (GOVT OF)		76,538	UNITED KINGDOM GILT		60,219
LEASYS SPA		65,725	REPUBLIC OF CHILE		54,437
EUROPEAN INVESTMENT BANK		64,508	CGNPC INTERNATIONAL LTD		53,814
SOCIETE DU GRAND PARIS		63,726	HONG KONG		48,354
KFW		62,486	NEDER WATERSCHAPSBANK		48,042
MANULIFE FINANCIAL CORP		61,195	PRUDENTIAL FINANCIAL INC		46,760
UNITED KINGDOM GILT		61,167	FRANCE (GOVT OF)		46,204
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO		56,130	TELEFONICA EMISIONES SAU		39,448

(注1) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2021年4月13日～2022年4月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2021年4月13日～2022年4月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2022年4月11日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建て）公社債

区 分		当 期					末		
		額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち BB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
			外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ		千米ドル 11,988	千米ドル 11,144	千円 1,388,884	% 20.3	% —	% 12.1	% 7.7	% 0.5
カ ナ ダ		千カナダドル 1,500	千カナダドル 1,450	143,542	2.1	—	1.1	0.8	0.1
オーストラリア		千オーストラリアドル 721	千オーストラリアドル 714	66,318	1.0	—	0.9	0.0	—
イ ギ リ ス		千英ポンド 2,948	千英ポンド 2,729	443,208	6.5	—	3.5	2.9	—
スウェーデン		千スウェーデンクローナ 4,900	千スウェーデンクローナ 4,672	61,724	0.9	—	0.4	0.3	0.2
ユーロ	アイルランド	千ユーロ 588	千ユーロ 567	77,029	1.1	—	1.1	—	—
	オランダ	5,174	4,841	657,281	9.6	—	5.7	3.3	0.6
	ベルギー	1,350	1,333	181,025	2.6	—	1.3	0.4	1.0
	ルクセンブルグ	529	479	65,033	0.9	—	0.7	0.2	—
	フランス	8,800	8,196	1,112,726	16.2	—	13.1	2.5	0.6
	ドイツ	3,657	3,436	466,555	6.8	—	5.4	0.8	0.6
	ポルトガル	300	300	40,758	0.6	—	0.6	—	—
	スペイン	4,151	3,970	538,981	7.9	—	4.1	2.3	1.4
	イタリア	5,197	4,737	643,125	9.4	—	6.8	1.6	1.0
	フィンランド	281	250	34,063	0.5	—	0.5	—	—
	オーストリア	100	101	13,805	0.2	—	—	0.2	—
	スロヴェニア	300	264	35,898	0.5	—	0.5	—	—
	その他	6,559	6,056	822,243	12.0	—	6.8	5.2	—
小 計		36,986	34,535	4,688,530	68.4	—	46.6	16.6	5.2
合 計		—	—	6,792,209	99.2	—	64.7	28.4	6.1

（注1）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額（ただし追加型公社債投信については資産総額）に対する評価額の割合。

（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建て）公社債

銘柄	種類	年利	率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨建金額	
(アメリカ)		%		千米ドル	千米ドル	千円	
HONG KONG	国債証券	2.3750		400	312	38,906	2051/02/02
PERUSAHAAN PENERBIT SBSN	国債証券	2.3000		800	787	98,090	2025/06/23
PERUSAHAAN PENERBIT SBSN	国債証券	3.5500		400	364	45,452	2051/06/09
REPUBLIC OF CHILE	国債証券	2.5500		200	182	22,707	2032/01/27
MAF SUKUT LTD	社債証券	3.9325		200	199	24,870	2030/02/28
BNP PARIBAS	社債証券	1.6750		218	198	24,678	2027/06/30
SWIRE PROPERT MTN FIN	社債証券	3.5000		200	199	24,830	2028/01/10
MTR CORP LTD	社債証券	1.6250		200	173	21,591	2030/08/19
QNB FINANCE LTD	社債証券	1.6250		283	266	33,246	2025/09/22
BK OF CHINA/JOHANNESBURG	社債証券	1.8750		314	304	37,912	2025/02/16
AGRICULTURAL BK CHINA/HK	社債証券	2.0000		349	338	42,163	2025/03/01
BANK OF CHINA/PARIS	社債証券	0.9500		300	292	36,409	2023/09/21
AGRICULTURAL BK CHINA/NY	社債証券	1.2500		200	185	23,158	2026/01/19
JOHNSON CONTROLS/TYCO FI	社債証券	1.7500		400	348	43,402	2030/09/15
ING GROEP NV	社債証券	1.4000		200	184	23,003	2026/07/01
HEALTHPEAK PROPERTIES	社債証券	1.3500		138	125	15,658	2027/02/01
EDP FINANCE BV	社債証券	1.7100		400	350	43,639	2028/01/24
INVERSIONES CMPC SA	社債証券	4.3750		400	415	51,831	2027/04/04
COCA-COLA FEMSA SAB CV	社債証券	1.8500		300	253	31,588	2032/09/01
WELLTOWER INC	社債証券	2.7000		300	290	36,200	2027/02/15
NIAGARA MOHAWK POWER	社債証券	1.9600		300	259	32,381	2030/06/27
MANULIFE FINANCIAL CORP	社債証券	3.7030		500	493	61,541	2032/03/16
WELLTOWER INC	社債証券	3.8500		66	64	8,042	2032/06/15
MASTERCARD INC	社債証券	1.9000		300	269	33,618	2031/03/15
ELECTRICITE DE FRANCE SA	社債証券	3.6250		150	149	18,609	2025/10/13
ALEXANDRIA REAL ESTATE E	社債証券	2.9500		109	98	12,300	2034/03/15
BOSTON PROPERTIES LP	社債証券	4.5000		200	207	25,860	2028/12/01
HYUNDAI CAPITAL SERVICES	社債証券	1.2500		400	362	45,235	2026/02/08
BOSTON PROPERTIES LP	社債証券	2.5500		300	260	32,520	2032/04/01
ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	社債証券	2.3590		400	395	49,347	2024/05/22
NORTHERN STATES PWR-MINN	社債証券	2.9000		350	301	37,567	2050/03/01
APPLE INC	社債証券	3.0000		270	269	33,573	2027/06/20
FIFTH THIRD BANCORP	社債証券	1.7070		202	185	23,131	2027/11/01
COOPERATIVE RABOBANK UA	社債証券	1.1060		250	225	28,085	2027/02/24
PEPSICO INC	社債証券	2.8750		400	350	43,660	2049/10/15
PRINCIPAL LFE GLB FND II	社債証券	1.2500		200	180	22,557	2026/08/16
VERIZON COMMUNICATIONS	社債証券	3.8750		300	305	38,055	2029/02/08
PFIZER INC	社債証券	2.6250		400	380	47,380	2030/04/01
VERIZON COMMUNICATIONS	社債証券	2.8500		189	157	19,674	2041/09/03
TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	社債証券	2.1500		500	452	56,397	2030/02/13
通貨小計	—	—	—	11,988	11,144	1,388,884	—
(カナダ)				千カナダドル	千カナダドル		
PROVINCE OF QUEBEC	地方債証券	2.1000		300	273	27,068	2031/05/27
PROVINCE OF QUEBEC	地方債証券	1.8500		400	380	37,607	2027/02/13
PROVINCE OF QUEBEC	特殊債証券	2.4500		100	100	9,938	2023/03/01
PROVINCE OF QUEBEC	特殊債証券	2.6000		200	198	19,649	2025/07/06
CPPIB CAPITAL INC	社債証券	3.0000		500	497	49,279	2028/06/15
通貨小計	—	—	—	1,500	1,450	143,542	—
(オーストラリア)				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債証券	3.3000		700	693	64,384	2028/02/03
INTL BK RECON & DEVELOP	特殊債証券	2.9000		21	20	1,934	2025/11/26
通貨小計	—	—	—	721	714	66,318	—

アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	種類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
(イギリス)		%	千英ポンド	千英ポンド	千円	
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	0.7500	300	291	47,325	2024/11/15
TRANSPORT FOR LONDON	特 殊 債 券	2.1250	100	98	16,016	2025/04/24
KFW	特 殊 債 券	0.8750	400	382	62,093	2026/09/15
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	0.6250	400	377	61,355	2026/09/15
ORSTED A/S	社 債 券	2.1250	100	98	15,961	2027/05/17
ORSTED A/S	社 債 券	2.5000	300	290	47,173	2033/05/16
SOUTH E POWER NETWORKS	社 債 券	1.7500	118	101	16,495	2034/09/30
WHITBREAD GROUP PLC	社 債 券	2.3750	300	283	45,957	2027/05/31
CAIXABANK SA	社 債 券	1.5000	100	93	15,257	2026/12/03
TRITAX BIG BOX REIT PLC	社 債 券	1.5000	100	85	13,838	2033/11/27
THE BERKELEY GROUP PLC	社 債 券	2.5000	100	87	14,175	2031/08/11
NORTHERN POWERGRID NORTH	社 債 券	1.8750	300	225	36,682	2062/06/16
PEABODY CAPITAL NO TWO	社 債 券	2.7500	130	126	20,510	2034/03/02
NATWEST GROUP PLC	社 債 券	2.0570	200	187	30,362	2028/11/09
通貨小計	—	—	2,948	2,729	443,208	—
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
KINGDOM OF SWEDEN	国 債 証 券	0.1250	1,700	1,532	20,237	2030/09/09
KOMMUNINVEST I SVERIGE	地 方 債 証 券	0.6250	1,000	998	13,195	2023/06/01
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	1.5000	500	489	6,463	2027/03/02
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	0.8750	1,000	977	12,914	2025/01/30
KFW	社 債 券	1.3750	700	674	8,913	2028/02/02
通貨小計	—	—	4,900	4,672	61,724	—
(ユーロ…・アイルランド)			千ユーロ	千ユーロ		
IRISH TSY 1.35% 2031	国 債 証 券	1.3500	200	204	27,707	2031/03/18
AIB GROUP PLC	社 債 券	0.5000	288	267	36,307	2027/11/17
ESB FINANCE DAC	社 債 券	1.1250	100	95	13,015	2030/06/11
国小計	—	—	588	567	77,029	—
(ユーロ…・オランダ)			千ユーロ	千ユーロ		
NETHERLANDS GOVERNMENT	国 債 証 券	0.5000	800	732	99,382	2040/01/15
LEASEPLAN CORPORATION NV	社 債 券	1.3750	300	301	40,975	2024/03/07
VESTEDA FINANCE BV	社 債 券	0.7500	184	162	22,009	2031/10/18
EDP FINANCE BV	社 債 券	0.3750	300	286	38,854	2026/09/16
VESTEDA FINANCE BV	社 債 券	1.5000	300	298	40,581	2027/05/24
ABN AMRO BANK N.V.	社 債 券	0.5000	300	270	36,734	2029/09/23
NATURGY FINANCE BV	社 債 券	0.8750	100	99	13,480	2025/05/15
SWISSCOM FINANCE	社 債 券	0.3750	100	93	12,738	2028/11/14
DE VOLKSBANK NV	社 債 券	0.0100	400	392	53,228	2024/09/16
LEASEPLAN CORPORATION NV	社 債 券	0.2500	300	284	38,646	2026/02/23
TENNET HOLDING BV	社 債 券	0.1250	300	251	34,146	2032/11/30
ENEXIS HOLDING NV	社 債 券	0.6250	100	89	12,136	2032/06/17
TENNET HOLDING BV	社 債 券	0.1250	400	371	50,392	2027/12/09
ENBW INTL FINANCE BV	社 債 券	1.8750	50	47	6,423	2033/10/31
ALLIANDER NV	社 債 券	0.3750	100	91	12,411	2030/06/10
REN FINANCE BV	社 債 券	0.5000	300	270	36,748	2029/04/16
ENEL FINANCE INTL NV	社 債 券	1.1250	100	98	13,425	2026/09/16
DE VOLKSBANK NV	社 債 券	0.3750	200	180	24,503	2028/03/03
COOPERATIEVE RABOBANK UA	社 債 券	0.2500	100	95	12,915	2026/10/30
LEASEPLAN CORPORATION NV	社 債 券	0.2500	240	223	30,340	2026/09/07
ENEL FINANCE INTL NV	社 債 券	1.0000	100	100	13,596	2024/09/16
ABN AMRO BANK NV	社 債 券	0.8750	100	100	13,607	2025/04/22
国小計	—	—	5,174	4,841	657,281	—
(ユーロ…・ベルギー)			千ユーロ	千ユーロ		
BELGIUM KINGDOM	国 債 証 券	1.2500	350	353	48,005	2033/04/22
KBC GROUP NV	社 債 券	0.2500	200	189	25,751	2027/03/01
KBC GROUP NV	社 債 券	0.8750	500	504	68,540	2023/06/27

アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	種類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
(ユーロ・・・ベルギー)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
KBC GROUP NV	社 債 券	0.3750	300	285	38,728	2027/06/16
国小計	—	—	1,350	1,333	181,025	—
(ユーロ・・・ルクセンブルグ)			千ユーロ	千ユーロ		
SEGRO CAPITAL SARL	社 債 券	1.2500	124	122	16,630	2026/03/23
SEGRO CAPITAL SARL	社 債 券	0.5000	173	150	20,447	2031/09/22
SELP FINANCE SARL	社 債 券	0.8750	232	205	27,956	2029/05/27
国小計	—	—	529	479	65,033	—
(ユーロ・・・フランス)			千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE (GOVT OF)	国 債 証 券	0.5000	600	483	65,581	2044/06/25
FRANCE (GOVT OF)	国 債 証 券	1.7500	1,500	1,578	214,286	2039/06/25
SOCIETE DU GRAND PARIS	特 殊 債 券	0.0000	300	267	36,281	2030/11/25
SOCIETE DU GRAND PARIS	特 殊 債 券	0.7000	300	197	26,810	2060/10/15
SOCIETE DU GRAND PARIS	特 殊 債 券	1.7000	100	96	13,154	2050/05/25
ELECTRICITE DE FRANCE SA	特 殊 債 券	1.0000	100	98	13,387	2026/10/13
SOCIETE DU GRAND PARIS	特 殊 債 券	1.0000	300	204	27,736	2070/02/18
SOCIETE DU GRAND PARIS	特 殊 債 券	1.0000	500	394	53,564	2051/11/26
SOCIETE NATIONALE SNCF	特 殊 債 券	0.6250	200	188	25,581	2030/04/17
SOCIETE DU GRAND PARIS	特 殊 債 券	1.1250	100	94	12,843	2034/05/25
BANQUE FED CRED MUTUEL	社 債 券	0.1000	400	367	49,864	2027/10/08
ARKEMA	社 債 券	0.1250	300	285	38,693	2026/10/14
COVIVIO	社 債 券	1.8750	200	202	27,471	2026/05/20
VINCI SA	社 債 券	0.0000	100	91	12,391	2028/11/27
SNCF RESEAU	社 債 券	1.0000	200	192	26,078	2031/11/09
ICADE	社 債 券	1.5000	300	296	40,193	2027/09/13
SNCF RESEAU	社 債 券	1.8750	200	205	27,949	2034/03/30
SNCF RESEAU	社 債 券	2.2500	300	320	43,473	2047/12/20
ORANGE SA	社 債 券	0.1250	100	90	12,270	2029/09/16
LA POSTE SA	社 債 券	1.4500	100	100	13,603	2028/11/30
GECINA	社 債 券	0.8750	300	249	33,841	2036/06/30
BNP PARIBAS	社 債 券	0.5000	100	96	13,112	2026/06/04
CREDIT AGRICOLE SA	社 債 券	0.3750	200	193	26,224	2025/10/21
LA BANQUE POSTALE	社 債 券	1.3750	100	95	12,897	2029/04/24
SOCIETE GENERALE	社 債 券	0.8750	300	280	38,041	2028/09/22
ELECTRICITE DE FRANCE SA	社 債 券	1.0000	100	88	12,039	2033/11/29
COVIVIO	社 債 券	1.1250	200	177	24,115	2031/09/17
BPCE SA	社 債 券	0.5000	300	279	37,942	2028/01/14
ICADE	社 債 券	1.0000	300	276	37,574	2030/01/19
UNIBAIL-RODAMCO SE	社 債 券	2.5000	300	307	41,806	2024/02/26
BNP PARIBAS	社 債 券	1.0000	100	100	13,610	2024/04/17
UNIBAIL-RODAMCO SE	社 債 券	1.0000	300	296	40,303	2025/03/14
国小計	—	—	8,800	8,196	1,112,726	—
(ユーロ・・・ドイツ)			千ユーロ	千ユーロ		
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	国 債 証 券	0.0000	400	380	51,695	2030/08/15
E.ON SE	社 債 券	0.8750	150	140	19,053	2031/08/20
E.ON SE	社 債 券	0.3500	70	63	8,583	2030/02/28
E.ON SE	社 債 券	0.6000	299	263	35,749	2032/10/01
NRW.BANK	社 債 券	0.5000	300	291	39,522	2027/09/13
NRW.BANK	社 債 券	0.0000	300	271	36,907	2030/02/18
BERLIN HYP AG	社 債 券	1.1250	100	96	13,128	2027/10/25
BERLIN HYP AG	社 債 券	0.5000	100	99	13,551	2023/09/26
COMMERZBANK AG	社 債 券	1.2500	200	201	27,332	2023/10/23
EUROGRID GMBH	社 債 券	1.1130	100	92	12,540	2032/05/15
DAIMLER AG	社 債 券	0.7500	138	122	16,698	2033/03/11
VONOVIA SE	社 債 券	0.6250	300	262	35,591	2031/03/24
DAIMLER AG	社 債 券	0.7500	300	279	37,894	2030/09/10

アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	種類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
(ユーロ…ドイツ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
DEUTSCHE BANK AG	社 債 券	1.3750	200	200	27,225	2026/06/10
DEUTSCHE BANK AG	社 債 券	1.8750	200	195	26,526	2028/02/23
COMMERZBANK AG	社 債 券	0.7500	200	194	26,446	2026/03/24
VONOVIA SE	社 債 券	2.3750	100	100	13,631	2032/03/25
LB BADEN-WUERTTEMBERG	社 債 券	0.2500	200	180	24,477	2028/07/21
国小計	—	—	3,657	3,436	466,555	—
(ユーロ…ポルトガル)			千ユーロ	千ユーロ		
ENERGIAS DE PORTUGAL SA	社 債 券	1.6250	300	300	40,758	2027/04/15
国小計	—	—	300	300	40,758	—
(ユーロ…スペイン)			千ユーロ	千ユーロ		
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	国 債 証 券	1.0000	350	292	39,642	2042/07/30
INSTITUT CREDITO OFICIAL	特 殊 債 券	0.2000	200	199	27,049	2024/01/31
INSTITUT CREDITO OFICIAL	特 殊 債 券	0.0000	201	189	25,766	2027/04/30
RED ELECTRICA FIN SA UNI	社 債 券	0.5000	100	89	12,145	2033/05/24
BANCO SANTANDER SA	社 債 券	1.1250	300	289	39,272	2027/06/23
CAIXABANK SA	社 債 券	0.3750	100	95	12,902	2026/11/18
ADIF - ALTA VELOCIDAD	社 債 券	0.8000	200	201	27,398	2023/07/05
ADIF - ALTA VELOCIDAD	社 債 券	1.2500	100	100	13,668	2026/05/04
ADIF - ALTA VELOCIDAD	社 債 券	0.9500	300	295	40,159	2027/04/30
ADIF ALTA VELOCIDAD	社 債 券	0.5500	200	178	24,265	2031/10/31
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.2500	100	100	13,647	2026/10/28
RED ELECTRICA FIN SA UNI	社 債 券	0.3750	100	94	12,883	2028/07/24
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.0000	100	100	13,602	2025/03/07
BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	社 債 券	1.0000	100	97	13,282	2026/06/21
BANCO DE SABADELL SA	社 債 券	1.1250	300	289	39,357	2027/03/11
BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	社 債 券	1.3750	300	301	40,911	2025/05/14
BANCO SANTANDER SA	社 債 券	0.3000	100	94	12,872	2026/10/04
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.0000	300	302	41,030	2024/03/07
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.2500	200	200	27,214	2027/09/13
CAIXABANK SA	社 債 券	0.5000	300	270	36,716	2029/02/09
BANKINTER SA	社 債 券	0.6250	200	185	25,190	2027/10/06
国小計	—	—	4,151	3,970	538,981	—
(ユーロ…イタリア)			千ユーロ	千ユーロ		
BUONI POLIENNALI DEL TES	国 債 証 券	1.5000	930	740	100,576	2045/04/30
UNICREDIT SPA	社 債 券	0.8000	300	269	36,619	2029/07/05
A2A SPA	社 債 券	1.0000	300	281	38,207	2029/07/16
FERROVIE DELLO STATO	社 債 券	0.8750	300	301	40,970	2023/12/07
TERNA SPA	社 債 券	1.0000	100	98	13,385	2026/04/10
LEASYS SPA	社 債 券	0.0000	306	297	40,455	2024/07/22
FERROVIE DELLO STATO	社 債 券	0.3750	361	332	45,163	2028/03/25
A2A SPA	社 債 券	1.0000	332	287	39,022	2033/11/02
TERNA SPA	社 債 券	0.7500	300	264	35,852	2032/07/24
HERA SPA	社 債 券	2.3750	100	103	14,015	2024/07/04
TERNA SPA	社 債 券	0.3750	268	242	32,947	2029/06/23
MEDIOBANCA DI CRED FIN	社 債 券	1.0000	200	189	25,704	2027/09/08
UNIONE DI BANCHE ITALIAN	社 債 券	1.5000	200	202	27,517	2024/04/10
ACEA SPA	社 債 券	0.2500	300	258	35,150	2030/07/28
HERA SPA	社 債 券	0.8750	200	192	26,137	2027/07/05
INTESA SANPAOLO SPA	社 債 券	0.7500	300	297	40,389	2024/12/04
IREN SPA	社 債 券	1.5000	100	98	13,338	2027/10/24
INTESA SANPAOLO SPA	社 債 券	0.7500	300	277	37,670	2028/03/16
国小計	—	—	5,197	4,737	643,125	—
(ユーロ…フィンランド)			千ユーロ	千ユーロ		
NORDEA BANK ABP	社 債 券	0.5000	161	144	19,589	2031/03/19
KOJAMO OYJ	社 債 券	0.8750	120	106	14,474	2029/05/28
国小計	—	—	281	250	34,063	—

アクサ I Mグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
(ユーロ…オーストリア)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
VERBUND AG	社 債 券	1.5000	100	101	13,805	2024/11/20
国小計	—	—	100	101	13,805	—
(ユーロ…スロヴェニア)			千ユーロ	千ユーロ		
REPUBLIKA SLOVEN	国 債 証 券	0.1250	300	264	35,898	2031/07/01
国小計	—	—	300	264	35,898	—
(ユーロ…その他)			千ユーロ	千ユーロ		
REPUBLIC OF KOREA	国 債 証 券	0.0000	113	107	14,586	2026/10/15
HUNGARY	国 債 証 券	1.7500	400	360	48,957	2035/06/05
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	0.0100	500	413	56,169	2035/11/15
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	0.0000	300	274	37,282	2029/10/24
REPUBLIC OF CHILE	特 殊 債 券	0.8300	400	362	49,184	2031/07/02
EUROPEAN UNION	特 殊 債 券	0.4000	130	112	15,335	2037/02/04
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	1.0000	100	93	12,684	2042/11/14
REPUBLIC OF CHILE	特 殊 債 券	1.2500	230	190	25,819	2040/01/29
VF CORP	社 債 券	0.2500	200	183	24,966	2028/02/25
VATTENFALL AB	社 債 券	0.0500	200	191	26,047	2025/10/15
ORSTED A/S	社 債 券	1.5000	100	98	13,304	2029/11/26
VATTENFALL AB	社 債 券	0.5000	100	96	13,075	2026/06/24
VATTENFALL AB	社 債 券	0.1250	100	89	12,201	2029/02/12
FEDEX CORP	社 債 券	0.4500	333	303	41,156	2029/05/04
NATIONAL GRID PLC	社 債 券	0.2500	235	213	28,956	2028/09/01
CHINA CONSTRUCT BK/LUX	社 債 券	0.0000	347	341	46,399	2024/04/22
SBAB BANK AB	社 債 券	0.5000	100	98	13,319	2025/05/13
IND & COMM BK CHINA/LUX	社 債 券	0.1250	278	272	37,022	2024/10/28
SUMITOMO MITSUI FINL GRP	社 債 券	0.4650	100	99	13,458	2024/05/30
NATL GRID ELECT TRANS	社 債 券	0.1900	100	97	13,240	2025/01/20
NIDEC CORP	社 債 券	0.0460	300	283	38,510	2026/03/30
ELI LILLY & CO	社 債 券	0.5000	364	320	43,498	2033/09/14
FIRST ABU DHABI BANK PJS	社 債 券	1.6250	400	396	53,779	2027/04/07
UBS AG LONDON	社 債 券	0.0100	200	189	25,686	2026/06/29
MIZUHO FINANCIAL GROUP	社 債 券	0.2140	100	95	13,026	2025/10/07
VODAFONE GROUP PLC	社 債 券	0.9000	100	98	13,428	2026/11/24
SVENSKA HANDELSBANKEN AB	社 債 券	0.0100	160	146	19,913	2027/12/02
SWISS LIFE FINANCE I AG	社 債 券	0.5000	298	257	35,001	2031/09/15
BANK OF CHINA/LUXEMBOURG	社 債 券	0.0000	171	167	22,747	2024/04/28
WESTPAC BANKING CORP	社 債 券	0.6250	100	99	13,481	2024/11/22
国小計	—	—	6,559	6,056	822,243	—
ユーロ通貨小計	—	—	36,986	34,535	4,688,530	—
合 計	—	—	—	—	6,792,209	—

（注1）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成
 (2022年 4 月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	6, 792, 209	99. 2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	57, 731	0. 8
投 資 信 託 財 産 総 額	6, 849, 941	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 期末における外貨建て資産 (6, 847, 964千円) の投資信託財産総額 (6, 849, 941千円) に対する比率は、100. 0%です。
 (注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1 米ドル=124. 63円、1 カナダドル=98. 96円、1 オーストラリアドル=92. 79円、1 英ポンド=162. 36円、1 スウェーデンクローナ=13. 21円、1 ユーロ=135. 76円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況
 ■損益の状況

(2022年 4 月11日現在)
 (2021年 4 月13日～2022年 4 月11日)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6, 850, 212, 430円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	△ 2, 616, 888
公 社 債(評価額)	6, 792, 209, 721
未 収 入 金	25, 171, 694
未 収 利 息	33, 358, 610
前 払 費 用	2, 089, 293
(B) 負 債	271, 522
未 払 金	271, 522
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	6, 849, 940, 908
元 本	6, 466, 088, 072
次 期 繰 越 損 益 金	383, 852, 836
(D) 受 益 権 総 口 数	6, 466, 088, 072口
1 万口当り基準価額(C／D)	10, 594円

1. 期首元本額
 4, 310, 230, 546円
 期中追加設定元本額
 2, 475, 278, 331円
 期中一部解約元本額
 319, 420, 805円
2. 1 口当たりの純資産額
 1. 0594円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
 6, 466, 088, 072円
 期末元本合計
 6, 466, 088, 072円

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	76, 341, 399円
受 取 利 息	76, 371, 074
支 払 利 息	△ 29, 675
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△252, 787, 631
売 買 益	450, 152, 686
売 買 損	△702, 940, 317
(C) そ の 他 費 用	△ 1, 134, 492
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△177, 580, 724
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	357, 291, 086
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 20, 579, 195
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	224, 721, 669
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	383, 852, 836
次 期 繰 越 損 益 金(H)	383, 852, 836

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。